

「山王中学校生徒指導通信」～「志」が宿り、「いかに生きるか」を考えるために～

『命の山王』

No. 24〔2018年10月24日(水)〕

「省(かえり)みる」ということについて

来週の火曜日に、小学生体験入学が行われます。例年この時期に行われますが、学区内の小学校出身者は、6年生の時にほぼ全員が参加していたはずで、その時6年生だった自分はその日、どんなことを感じていたでしょうか。また、今どんなことが記憶として残っているでしょうか。

その日が初めての山王中訪問だったとすれば、広くて明るい校舎が印象的だったかもしれません。あるいは、出迎えてくれた中学生の大人っぽさを感じたかもしれません。また、部活見学では、初めて目にする部活もあったはずで、そのインパクトは大きかったはずで、

今年も日程的には今までと同じように進められますが、主に活躍するのは1年生です。2、3年生も授業や部活の練習風景を見せますが、1年生は、歓迎のセレモニーや学校生活の紹介など、大忙しとなります。ですから、1年前とは違う成長した姿を見せるチャンスでもあるわけです。

1年の節目や何かの機会に、以前の自分について振り返ることはあると思います。小学生体験入学は、小学生だった時の自分、そしてそれから年月を経て成長した自分、そして来年の自分などなど、比べる対象が分かりやすいと思います。

3年生にとって、今の小学6年生とはすれ違いとなり、山王中で一緒に生活することはありません。2年生は、来年の4月に最上級生として迎えることとなります。自分が入学した時の中学3年生が、まぶしいぐらいの大人に見えたはずで、自分がついにその存在になるわけです。そして、1年生にとっては、最も長く中学生生活を一緒に過ごすこととなります。そして中学での初めての後輩ともなります。

小学生体験入学という機会に過去の自分を振り返る、という言い方もできますが、省みるという言葉も悪くないと思います。「省みる」とは「自身の言動などを、振り返ってじっくりと考えること」という意味があります。また、過去を反省する、とか自分を見つめ直す、という意味もあります。あの時の自分に対して、今はどのぐらい成長しているのか、あるいは、成長が足りないのか、省みる機会になるのではないのでしょうか。小学生の姿の中から、過去の自分を見見付け、それからの年月を省みても悪いことではないと思います。

〔生徒指導主事：木内記〕

「若人山王精神」発揮のチャンス！

明日は「指導主事訪問日」で、全教科に指導主事の先生方がいらっしゃって、研究授業を見ていただきます。先生方も頑張ると思いますが、力の見せ所は生徒自身です。挨拶(あいさつ)はもちろん、積極的な授業態度も「志」を求める姿勢も、発揮すべきよいチャンスだと思います。山王中という学校が素晴らしいということを、ぜひ見せつけてほしいと思います。(このため明日の全校生徒の下校は13:25となります)

風邪に注意！

朝晩の気温が低くなっています。そのためか風邪をひいている生徒が目立つようになってきました。体を冷やさないこと、睡眠不足にならないようにすること、生活のペースや栄養バランスが崩れないようにすること、などが大切です。健康が一番です。お大事に。